

適 応 力 の こ と

記事内容はわたし個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

ご意見などの宛先 horikawassw@gmail.com



放課後児童クラブは、昼間、保護者が家にいない家庭の小学生（多くのクラブで利用は四年生まで）を、放課後や土曜日、夏休みなど学校の授業が休業している時に預かってくれます。

クラブでは、支援員が子どもたちの健全な育成と遊びや生活の支援を行います。保育園・幼稚園ほど細やかな見守りはしていません。

☆1

ご想像の通り、どの児童クラブも狭い中でたくさん子どもたちが、かなり騒々しい環境で他学年との混合で生活しています。

園のように、長時間の利用時間延長はしていません。給食也没有から、夏休み中は**お弁当**が必要になります。

★2

恐らく、夏休み中の放課後児童クラブ利用については色々と考えるところがあるのではないのでしょうか。

特に新一年生たちは大きく環境が変わって、連日、疲れ切って帰宅していた子も多い事でしょう。

しかし、子どもたちの適応力には目覚ましいものがあります。これまでの約四カ月で、それができない子もいますが、ほとん

どの子が新しい環境の中で自分の居場所を見つけていることでしょう。

夏休み中、たくさんの友だちと一緒にさまざまな遊びができる**児童クラブ**はきっと、子どもにとって立派な『**サードプレイス**』になっています。

そこは特にきょうだい居ない子にとって、とても重要な関係づくりの場であることは間違いありません。

☆3

わたしが心配なのはあなたの方です。

毎年「かつて経験したことのない…」という報道がなされる暑さの中、早朝からの弁当作りは、普段のご自分の弁当づくりと違って負担になってはいないのでしょうか。

また、お休みの日、学業中の休日以上に子どもの「どこかに連れて行って」攻撃がつのるのではないのでしょうか。

そうすると、あなた自身が『**自分の時間**』を持つことが大切です。

時間はどんどん過ぎて行きます。決意しない限り**自分時間**は持てませんよ。

